

「環境」と「研究」を支える仕事

国立研究開発法人
国立環境研究所

事務職員採用案内



国立環境研究所は

幅広い環境研究に取り組む

日本で**唯一**の研究所です。

大気汚染物質が
私たちの体に与える影響は？

化学物質が子どもの発育に
及ぼす影響は？

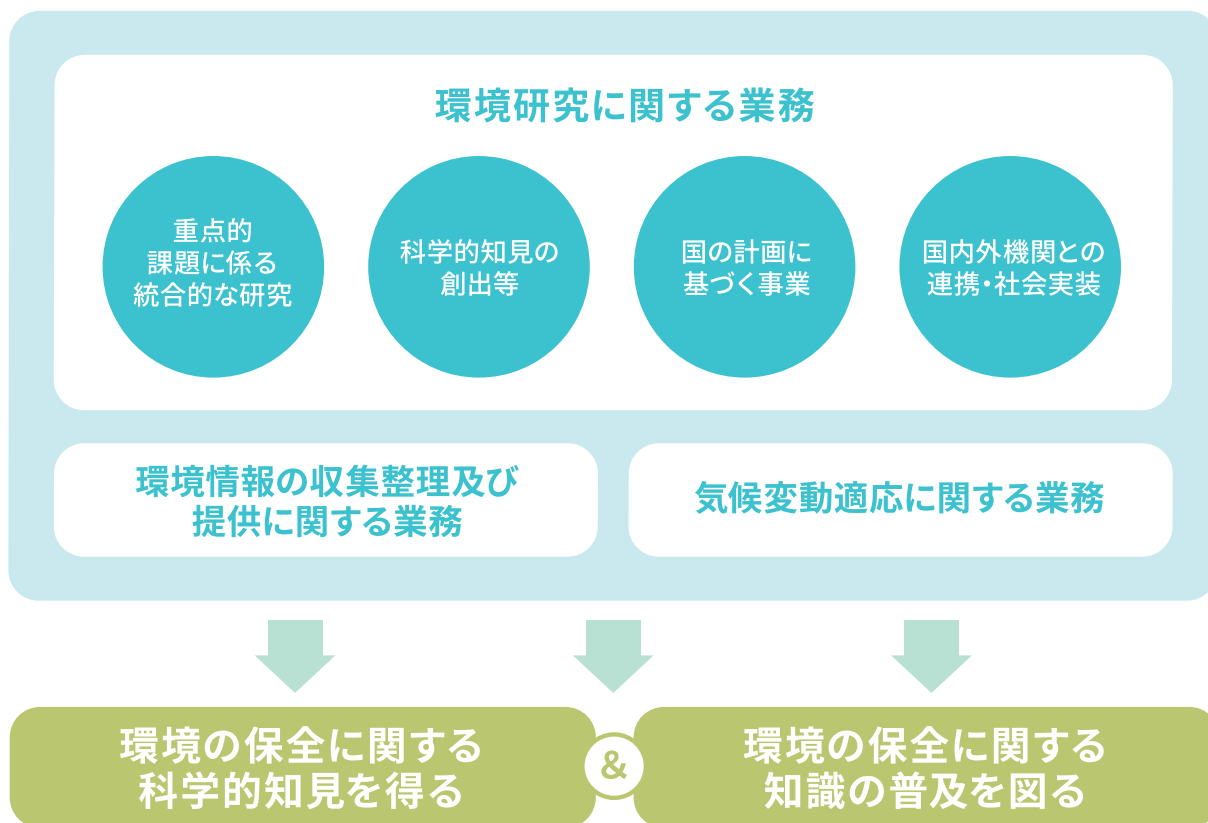
外来種により生態系が壊れると
どんな問題が起きる？

気候変動の原因や適応策は？

大量の災害廃棄物を
どう処理するべき？

環境行政に貢献する研究を行う国環研(こっかんけん)。 環境研究の中核機関、政策貢献型機関としての役割を求められています。

1974年の発足以来、さまざまな環境問題の解決に重要な役割を果たしてきた国立環境研究所。
5~7年の中長期的な目標計画に基づき、社会全体の発展を目指して日々研究開発を行っています。



..... 研究実施部門

地球システム領域

人工衛星「いぶき」を用いた温室効果ガスの地球規模での観測など、地球環境問題解決のための研究を行っています。

環境リスク・健康領域

安全・安心な社会を実現するため、化学物質が生態系や人の健康にもたらす影響を研究しています。

生物多様性領域

外来生物の対策手法の開発や絶滅危惧種の遺伝子保存など、生物多様性・生態系の保全に関する研究を行っています。

気候変動適応センター

地方公共団体等への技術的助言や資料提供、気候変動に関する研究や情報提供を行っています。

資源循環領域

社会経済活動に伴う廃棄物や循環資源の適正な処理・処分・再生利用などについての研究を行っています。

地域環境保全領域

大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などについて、国内とアジアを中心に地域的な環境問題の研究を行っています。

社会システム領域

環境と経済が調和した持続可能な社会への転換に向けて、社会実装研究などを行政とも協力して行っています。

福島地域協働研究拠点

福島県や日本原子力研究開発機構と連携して、被災地の環境回復と環境創生に向けた災害環境研究を行っています。

国立環境研究所の屋台骨 事務職員

企画・支援部門

研究所の土台を支える業務を担っています。

企画部

- 経営の基本方針の企画・立案
- 研究評価等、研究の推進に係る企画・立案
- 広報に関する企画・立案
- 環境研究の国際協力推進に係る企画・立案

連携推進部

- 戦略的な研究連携、研究推進に係る企画・立案
- 様々な主体との対話・協働に係る企画・立案

総務部

- 文書管理、個人情報保護、安全管理など
- 人事、給与、福利厚生などに関すること
- 財務諸表の作成、金銭の出納、物品契約など
- 施設の整備・維持管理・修繕などに関すること

環境情報部

- 研究成果の出版、HPの運営など
- 環境情報提供システムの整備・提供など
- ネットワークの管理・運用、図書・文献資料の整備など

監査室

- 監査計画の作成、内部監査などに関すること

研究実施部門

研究をサポートする役割を担っています。

地球システム領域

- 地球環境の観測事業に係る事務

観測施設(山梨県富士北麓、北海道根室落石等)の維持管理・運営事務、関係各署への許認可申請など

資源循環領域

- 資源循環・廃棄物研究に係る事務

領域の広報窓口を担当するほか、災害環境マネジメント戦略推進オフィスの事務局として、関連予算の執行管理・連絡調整・報告書の取りまとめなど

環境リスク・健康領域

- 小児健康影響調査(エコチル調査)に係る事務

環境省のプロジェクトである子どもの健康と環境に関する全国調査を推進するために、当該調査のコアセンターとして、参加者フォローアップのための広報戦略立案及び各ユニット(大学等)との連絡調整など

福島地域協働研究拠点

- 福島県田村郡三春町における、災害と環境に関する研究に係る事務

福島地域協働研究拠点での研究業務を支援するため、福島地域協働研究拠点における企画・調整、安全衛生管理、契約など

Q&Aで知る

国環研の事務職員

Q 文系学生も力を発揮できますか？

A 多くの文系出身者が活躍しています。事務職員の文系出身者と理系出身者の比率は、ほぼ半々となっています。



Q 研究所と聞くと少し堅いイメージがありますが、職場の雰囲気は？

A およそ70名が在籍する事務職員。比較的少人数だからか、持ち前の人柄によるものか、とてもアットホームな雰囲気です。アイデアや意見など、個人の声が届きやすい環境で、早期から責任ある業務を担うことができます。もちろん、フォロー体制も万全です。

Q 異動や転勤はありますか？

A 人事希望調査や面談を経て、2~3年で配置転換があります。また、福島地域協働研究拠点への転勤、環境省や他の独立行政法人などへの出向の可能性も。さまざまな経験を積み、幅広い知識を持ったジェネラリストとしての活躍が期待されています。

Q どんな行事がありますか？

A 一般公開の大イベント！「春の環境講座」・「夏の大公開」

毎年4月と7月の第3土曜日に行う一般公開イベント。研究者・事務職員が協力して開催する、恒例の全所行事です。特に、夏休み期間に行われる「夏の大公開」は、関東圏を中心に5000人が訪れる盛況ぶり。事務職員も、各種受付や所内ガイドツアーのアテンドなどを通じて、来場者との触れ合いを楽しめます。



総務部会計課

川尻 麻美

(慶應義塾大学 出身)



国民の税金から成り立つ予算を 適切かつ円滑に研究に活かす仕組みづくり

会計課と聞くと、机にかじりついて仕事をしている姿を思い浮かべるかもしれませんが。あながち間違いでもなく、提出された書類に一つでも記入ミスや漏れがないかを念入りに確認し、手続きを行います。国環研の予算は税金から成り立っており、私たちに国民の皆さんからお預かりしたお金を適正に管理する責任があります。ただ一方で、研究者に複雑なルールや多量の事務作業を課してしまえば、研究業務に支障が出てしまうかもしれません。ですから常にルールと実務のバランスを考えながら、適切かつ円滑に予算を執行できる運用方法を模索しています。

遠い立場であっても 研究者の活躍を下支えする

私が環境問題に興味を持ったきっかけは小学生の頃に見たテレビ番組で、子どもながらに強い危機感を募らせたことを覚えています。大学生になってからもその想いは変わらず、環境問題に取り組む研究者を支える仕事に就きたいと思うようになりました。そして国環研に入所した今、見えてきたことがあります。研究者の歩む道は想像よりずっと苦勞の多いもので、厳しい意見をぶつけられる姿を見ることもありました。会計業務は環境問題の解決に直結しませんが、それでも「研究者を裏から支えるんだ」という意志を持って仕事に取り組んでいます。



旅費申請に関する相談など、研究者だけではなく他部署の事務職員とも接点があります。



堅い業務の反面、ちょっとした伝言には遊び心を。私物のふせんコレクションから使い分け。

資源循環領域

吉村 篤彦

(上智大学大学院 出身)



研究者と話し合い あらゆる要望に応え続ける

資源循環領域では、現在5つの研究室とオフィスが研究に取り組んでおり、それら領域全体の事務業務をサポートするのが私の役割です。管理部門の事務職員との違いは、総務・会計・人事・企画・情報などさまざまな部署の役割を一人で少しずつ兼ねているところでしょうか。研究者とコミュニケーションを取り、要望をまとめ、各部署へと繋ぎます。幅広い知識が求められる仕事ではありますが、研究者と近い距離で活動のサポートができるので、自分も研究の一部に貢献しているというやりがいを感じることができています。

世界から大きな期待が寄せられている 研究者たちの良きパートナーに

最近では国外の公的機関との仕事が多く、国際会議や研修会の運営、事務局の訪問で出張することも少なくありません。たとえば、国際連携業務として行っているASEANからの受託事業。インドネシアで開催された大規模な国際会議では、会議開催にかかる契約の仕様検討から当日の運営支援を担い、無事に完遂できたことは大きな自信となりました。当領域の取り組みは、各地で発生する自然災害による廃棄物の問題から、世界の国々への技術の導入に向けて大きな期待が寄せられています。今後も研究者の良きパートナーとして、研究活動に貢献していきたいと思っています。



日頃から研究者とのコミュニケーションを大切に。理系出身の私は研究室の雰囲気ワクワク。



ジャカルタでの会議。ASEAN諸国が抱える廃棄物の問題に、私たちの知見が求められています。

総務部総務課

林 しおん

(茨城大学 出身)



研究ユニットとの繋がりを深め 所内の安全を確実に守る

国環研の施設内には2万点にも及ぶ化学物質が保管されています。危険な薬品も含まれているため、確実に在庫を管理していくのが安全管理係の役割です。年に一度の棚卸し自体は研究ユニットに行っていただくのですが、面倒にも感じる作業を毎度お願いするのは心苦しくもあります。そんなとき思い出するのが「要点は短く、雑談は長く」という先輩からのアドバイス。伝えるべきことは端的に伝え、余裕があれば少しの世間話。そうしているうちに自然と打ち解け、進んで協力していただけるようになり、研究の裏話なども聞かせてもらえるような関係を築くことができました。

楽しみがあるから仕事も頑張れる 充実のワークライフバランス

終業後は、ほぼ毎日バドミントンの練習に励んでいます。2019年には国環研チームの創部以来初となる、つくば市1部リーグへの昇格を果たすことができました。高校時代から続けてきましたが、社会人になった今が一番充実した練習をできているように感じます。私にとってバドミントンは、研究者や他部署の職員、また他機関の方々との繋がりを育む大切な場です。国環研にはバドミントンだけでなく、野球やサッカー、卓球にヨガなど、さまざまな同好会があります。業務とは違った交流が生まれ、オンとオフのメリハリある生活が送れるのでオススメです。



つくば市の大会には他機関の同好会などたくさん
のチームが参加。国環研も負けられません！



ごほんに行ったり、たまに遠出をしたりと、職員同
士の仲が良いのも国環研の魅力の一つ。

総務部人事課

澤田 史哉

(東京農工大学 出身)



環境を変えることで成長を加速させる ジョブローテーション

国環研では、2~3年ごとのジョブローテーション制度を取り入れています。私は入社から10年の間に、エコチル調査コアセンター（現：環境リスク・健康領域）、総務部人事課、総務部会計課を経験しています。同じ部署に長期間いると専門性が増す一方で、マンネリ化する恐れもあります。ジョブローテーションをすることで、新鮮な気持ちで業務にあたれますし、新しい人との出会いから刺激を得ることができます。また、あらゆる判断を求められる立場になった時にも、さまざまな部署で積み重ねた経験や知識が必ず役に立つはずです。

研究所を適正に運営・管理することが 地球環境の未来に繋がっていく

公害問題の研究機関として創設された国環研は、今では幅広い環境問題を扱う唯一の研究所として世の中に認知されるようになりました。特に震災以降は、放射性物質や災害廃棄物などへの対応策を研究する組織として、大きな期待と責任を背負っています。世界共通の課題に立ち向かう最前線ともいえる場所で研究者のサポートに当たる私たちの仕事には、大きなやりがいがあります。たとえ疲れることがあっても、施設内の豊かな自然が癒してくれ、すよ。「研究所の屋台骨として研究者を支えたい」という皆さんと働ける日を楽しみにしています。

● 澤田さんのキャリアステップ ●



2つ目の部署である人事係時代に採用担当をしており、当時採用した職員と現在の部署で一緒に仕事をしています。上司・部下の関係ですが、困ったときに助けてもらうこともあるほどに成長してくれました。嬉しく感じるとともに、負けられないなと思っている今日この頃です。



国環研の職場環境 8 の特長



効率的で質の高い仕事は、良好な職場環境から生まれます。

国環研ではすべての職員にとって働きやすい場であり続けることを、大切に考えています。



年次

有給休暇 取得率

70%

有給休暇は入所後すぐに付与され、取得事由にルールや制限はありません。また、年5日の年休は法律に基づき確実に取得できます。2020年3月時点での有休取得率は約70%。オンもオフも大切に。

～ 国家公務員と同水準 ～

育休 最長 3年

育児休業は最長で3年間取得可能。国家公務員と同水準の待遇で、職員の活躍を応援しています。

人脈をつくろう

所内互助会

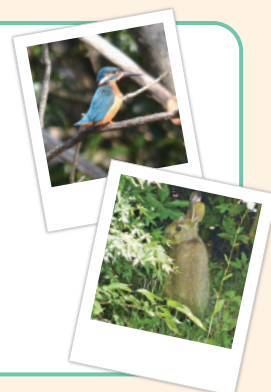


年に数回、ビアパーティーやレクリエーション大会を開催。普段は接点の少ない人とも仲良くなれるチャンスがあります。

多様な動植物の宝庫

自然豊かな構内

環境配慮活動の一環として、敷地内では豊かな自然環境を維持しています。さまざまな動植物が見られ、時には野うさぎやかわせみに出会えることも。



20～30代が活躍する

若い組織

国環研が事務職員の独自採用を本格的に始めたのは平成21年度から。20～30代の若い職員が多く、和気藹々とした親しみやすい環境です。



各々の生活を尊重

柔軟な勤務体制



始業時間を7:30～9:30の間で選択できる勤務時間選択制度のほか、始業・終業時間を自分で決められるフレックスタイム制度（コアタイム有）を活用することで、自身やご家族のライフスタイルに合わせた働き方も可能です。

精鋭たちが
各地から

集結



事務職員の出身地は、日本全国さまざま。自然と都市が融合したつくばの街は住みやすく、住宅手当の補助もあります（※条件あり）。

職員の
子育てを応援

一時預かり 保育室

保育園が休みの時などの助けになるのが、所内にあある一時預かり保育室。保育士（業務委託）がいるので子育て世代も安心して仕事に取り組めます。



国立研究開発法人 国立環境研究所

〒305-8506 茨城県つくば市小野川116-2
Tel: 029-850-2318 Mail: saiyo@nies.go.jp

リサイクル適性[®]
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます

